

福島再生可能エネルギー研究所 に係る見学・体験学習プログラム

作成推進校		福島県立二本松工業高等学校
対象児童・生徒		情報システム科
事前学習	計画	化石燃料である石炭や石油はいずれ枯渇する。資源の少ない日本にとって再生可能エネルギーは貴重な国産エネルギー源であるので、地球温暖化の防止と持続可能性実現にも不可欠なため早期、導入が期待される。 再生可能エネルギー利用システムの基本的な知識を学習する。
	期待できる成果	再生可能エネルギーは、どのように利用するのか、このエネルギーを導入のために解決すべき課題に、興味・関心を持つことができる
見学・体験学習	計画	ソーラパネルでの太陽光発電、大型プロペラによる風力発電の見学や地中熱実証フィールド、太陽光の太陽電池試作ラインの体験学習 再生可能エネルギーを水素キャリアとして貯蔵し効率的に運ぶ技術や新たなエネルギーネットワークについて学習する。
	期待できる成果	どうして再生可能エネルギーが必要なのか、その使用方法や技術、エネルギーネットワークについても理解を深められた。
事後学習	計画	風力エネルギー・太陽光エネルギー・地中エネルギー・地中熱エネルギーと水素キャリア、エネルギーネットワークと見学してきた研究所の研究内容をまとめ報告書の作成する
	期待できる成果	再生可能エネルギー利用のために最新技術を体験学習することで、理解を深めることができる。これからの学習意欲を高めさせる。

「地域の再生可能エネルギー事業所の見学」
福島再生可能エネルギー研究所を見学してきました。



- 日本の将来を考える上で、エネルギー問題は重要なテーマだと思いますか。

- 今回の見学で再生可能エネルギーについて関心の変化は、ありましたか。

- 今回の見学で日本の原子力発電の電力使用率は、30年後を待たずにゼロにすべきであると思いますか。

- これから再生可能エネルギーは、化石燃料(灯油、ガソリン、ガス)に対抗していけると思いますか。

- これから日本全体で再生可能エネルギーの供給の割合を高めてい必要があると思いますか。

- これから日本全体で再生可能エネルギーに対して期待するものはありますか。

- 今回の見学で特に印象に残ったことがありましたら書いて下さい。